

「プール同窓会便り」と「ミヅパ会だより」との合併号



# プール同窓会便り

## No.107

一般社団法人 POOLE  
2021年7月発行



一般社団法人POOLE  
(プール学院同窓会)

理事長  
**鈴木 光子**  
(高73回・小柴)

## ご報告

### 昨

年よりの新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きく変わらざるを得なくなりました。

みんなマスクをし、人との接触を出来る限り避け、会合も会食もなくなり、緊張を強いられる毎日となっております。

同窓会は昨年の第1次緊急事態宣言を受け、5月の一堂に会しての社員総会は中止となり、社員の皆さまの同意書により決議されました。午後の同窓生の集いも中止となりました。7月に発行予定の同窓会便りも学院報発行停止に伴い休止となりました。

その後も感染が収束することなく、9月の賀寿祝福礼拝、10月のクラス代表者会、12月のクリスマス礼拝も中止と致しました。

年が明けても感染は留まることなく拡大し、第2次、第3次、第4次の緊急事態宣言が発出されました。

今年度の社員総会も同意書による総会とならざるを得なくなりました。

9月11日の賀寿祝福礼拝は昨年と今年の2学年合わせての開催予定としておりますが、実現できませんことを心から願っております。

今期任期満了に伴い、内田佐知子さん、黒川か代子さん、市成美砂子さんの3人の方が理事・監事を退任されました。永きにわたってご奉仕くださいましたことを心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染により亡くなられた方の魂の平安を祈ると共に現在病床にある方の一日も早いご回復を祈ります。

また、新型コロナウイルス感染に携わってくださった医療従事者始め、すべての関係のみなさまに心から感謝を申しあげます。

新型コロナウイルス感染が収束に向い、一日も早く日常が戻りますよう祈っております。同窓生のみなさまの笑顔と元気な声に戻り、お目にかかれる日を心待ちにしております。

## CONTENTS

### プール同窓会便り No.107

理事長挨拶	1
クラス代表者会	2
Something new	2
プール幼稚園便り	3
事務室より	3
支部活動報告	4

### ミヅパ会だより Vol.61

ミヅパ会だより Vol.61	
会長挨拶・短期大学閉学と今後のミヅパ会	5
短期大学閉学記念礼拝ご挨拶	6
クーパー先生を偲ぶ	7
関東支部だより	7
掲示板・決算書・予算書	8

### プール同窓会便り No.107

賀寿祝福礼拝・記念礼拝	9
POOLE information	10
決算報告	11
Open house day	
遺贈・ご逝去	
編集後記	12

### 一般社団法人POOLE

#### 「2020・2021年度 定時社員総会」

上記の社員総会は、同意書による書面総会となり、承認されました。

### 一般社団法人POOLE

#### 「2020・2021年度 同窓生の集い」

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により、中止されました。

## クラス代表者会のご報告と今後の予定

各年卒業生の皆様から選ばれたクラス代表者の方で構成される会が「クラス代表者会」(2021年度総会での改選後は73回～130回生が対象)となります。

毎年秋頃に「クラス代表者会」を母校プール学院の校舎内をお借りして開催しておりますが、残念ながら昨年2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止とさせていただきます。

コロナ禍におけるプール学院の近況や同窓会の活動などについて、クラス代表者の方々にお伝えしたいことは様々ありますが、プール学院報や同窓会便りの紙面やホームページをご覧いただければと思います。

夏過ぎには新型コロナウイルスの感染拡大が収まることを願い、本年2021年度のクラス代表者会につきましては今秋開催ということで準備を進めていく予定です

が、今後の感染状況によっては延期、中止の可能性もあります。いずれにいたしましても、改めてクラス代表者の皆様にご案内いたします。



2019年度  
クラス代表者会  
の様子

常任学年代表者委員会 委員長  
**桑平 麻由子**(高86回・桑村)



01

Something  
new

'21

イベントや同窓生紹介など

一般社団法人POOLE(プール学院同窓会)の  
最新情報やニュースをお届け!

## 新任のご挨拶

理事長

アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区主教

今年4月1日付で、理事長に就任致しました磯 晴久と申します。

皆様ご存じのように、プール学院の始まりは、1879年川口居留地(現在西区川口)にミス・オクスラドが始めた永生女学校と言われていました。今年で142年目です。私が、幾多の困難を乗り越えてきた歴史と伝統ある学校の理事長に選ばれるとは、「神様、私でよろしいのですか。」という畏れの気持ちが正直あります。しかし、神様の思召しと信じ、プール学院の「愛と奉仕」の精神を土台に、この光栄ある務めに取り組んで参ります。皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願い致します。



中学校高等学校 校長 安福 朗

今年4月より、プール学院中学校高等学校の校長に就任させて頂きました、安福 朗と申します。

私は松蔭中学校高等学校で長く教鞭を執り、その後啓明学院中学校高等学校の副校長・校長を17年間勤めました。

この度、伝統あるプール学院中学校高等学校の校長に就任させて頂くことになりましたが、これも神様から与えられた使命と思い、聖公会の一信徒として、小さな器ではありますが、学院の発展のため全力を尽くしたいと決意しております。

私の願いは、「プール学院がもっとプール学院になる」ことです。

142年間積み重ねてきた「愛と奉仕」の教育を更に充実させ、これからの「自らの願いと他者の願いをひとつにする、一人の祈りがみんなの祈りとなる」学院として在り続けるために、努力していきたいと思っております。

同窓会の皆様の、物心両面にわたるこれまでのお支えに感謝するとともに、これからも母校をお育て頂くようお力添えをお願いし、ご挨拶とさせて頂きます。



経歴 1954年生まれ。中学部・高等部・大学(経済学部)と関西学院で10年を過ごす。松蔭中学校高等学校の社会科教員として25年間勤務の後、啓明学院中学校高等学校の副校長・校長を17年間務める。教名はギデオン。

## 02 退任のご挨拶

監事

内田 佐知子(高74回・手塚)

長らく同窓会にかかわらせていただきました。お手本に憧れた先輩、おしゃれて色々こなせる若い方、本当に人に恵まれ楽しい同窓会でした。しかし私でお役にたてたかなとも自問しています……。

思い起こしますと、初めて溝辺清子理事長と関東支部会に出席し、東郷会館での集い、安増武子支部長のご挨拶、サロンのような雰囲気を思い出します。閉会后支部長から、帰りの新幹線の中でも読んでくださいといわれ頂戴したご自身の出版された著書の中、プール学院の事も書かれておりいつもより早く京都駅に着いた気がしました。坂本スミ子先輩が歌ってくださった事、本部から持参した物販を一度買われ「残り全部買うわよ。」と協力していただいた事を思い出します。

館長の片山敬子先生に会館の台所で昼食を用意していただき、よくごちそうになりました。近年は関東支部会に個人参加し、翌日杉山先生の教会の礼拝に出席できたことも懐かしく思います。

ここ1年はコロナ禍で役員会も制約され、皆さんに会えることも少なく残念でした。有難うございました。



理事

市成 美砂子

(高86回・樋渡)

クラス代表者から学年代表、常任学年代表、理事と長きにわたり、同窓会の役員に携われた事に感謝し嬉しく思います。

在学中は特に高校3年間はクラブに入っていませんでしたので、先輩方とのお付き合いはありませんでしたが、同窓会でたくさん先輩方とお知り合いになれ、様々な行事をご一緒に企画、催行できました事は私の財産です。また同窓会コーラスのピアノを担当させていただけた事にも感謝しております。

4月から仕事のステップアップに挑戦しているため、理事を退任させていただきます。最後の1期2年はコロナ禍で、同窓会の行事が次々中止となり、5月の「同窓生の集い」をできなかった中での退任は残念でした。

最後になりましたが、プール学院と同窓会の発展を心からお祈り申し上げます。





# プール幼稚園便り

この春、幼稚園の園庭に春は急ぎ足でやって来ました。いつも春休みに咲く白木蓮も卒園生を寿ぐかのように早々と満開の花を咲かせ、梅も桜もチューリップも次々に咲き出してコロナ禍の中の子ども達の毎日に彩りを添えてくれました。

金柑も大豊作。たくさんの金柑が子ども達のお腹に入りました。コロナ禍の影響で昨年は登園日も制限された園庭には雑草がどんどん伸びていました。草抜きをしていると「先生、何してるん」と尋ねてくれた年長の2人組。「草抜きよ」と言うと「やってもいい?」「勿論よ」それ以後、2人は**毎日せっせと草抜きを手伝ってくれました**。彼等のお陰で仲間はずんずん増えて、園庭の環境は少しずつ整っていきました。**プール幼稚園から未来のグリーンフィンガーが育ってくれるかも知れません。**

理事長 大坪 栄子 (高74回・清水)

学校法人トリストラム学園 プール幼稚園は幼稚園型の認定こども園として2017年より新たな歩みを始めました。プール幼稚園は同窓生皆さまの幼稚園です。

学校法人トリストラム学園 認定こども園  
**プール幼稚園**  
〒546-0023 大阪市東住吉区矢田3-2-18  
TEL:06-6698-7700 FAX:06-6698-7290  
URL: <http://www.poole-kdg.com/>  
Mail: [poole\\_youchien@yahoo.co.jp](mailto:poole_youchien@yahoo.co.jp)



## 同窓会クリスマス 礼拝のお知らせ



**日時** 2021年12月11日(土) 11:00 ~ 12:00

**場所** 川口基督教会

※当日はオンライン配信の予定もしています。  
同窓生に限らずどなたでも参加いただけます。申込み不要  
緊急事態宣言発出の場合は中止



## 事務室より

同窓会館の事務職員、関野佳世子さん(高88回)が2021年5月末にて退職しました。いまでのお働きに感謝します。現在は鈴木安紀(高93回・重田)と松井貴善子(高94回・石浦)の2名で勤務しております。同窓会館事務室では、会員の皆様が学年会・クラス会・クラブ会などの会合を開きやすいようにいろいろサポートいたします。お気軽にご相談ください。

### サポート内容

名簿作成・開催案内状作成・プログラム作成・案内状印刷・発送用宛名ラベル印刷・運営アドバイス・資料貸し出し、その他

※今回「同窓会からのお知らせ」(サーモンピンクのチラシ)の発行はありません。



# Mizpah

Mizpah会だより  
Members' newsletter

ミヅパ会だよりは、プール学院ミヅパ会(短期大学・大学同窓会)の会報誌で、  
プール学院同窓生全員の皆様にお届けしています。



## Mizpah

Jacob and Laban made an agreement to live separately.

Laban said, "May the Lord keep an eye on us while we are separated from each other." So the place was called **Mizpah**. Genesis 31:49

*After Graduation people separate but God watches over us hence Mizpahkai.*



短大初代学長フォス先生の胸像



## 《 会長ご挨拶 》 短期大学閉学と今後のミヅパ会

プール学院ミヅパ会会員の皆様大変ご無沙汰しております。お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。2020年から始まりました新型コロナウイルス感染が終息しないまま2年目になります。

緊急事態宣言により自粛生活が続いておりますので、同窓会・ミヅパ会活動も自粛いたし、このミヅパ会だよりの発行も2年ぶりとなります。

この間に様々なことがありました。長年、教鞭を執られチャブレンをお務めになりましたパメラ・アン・クーパー先生が2021年2月に母国イギリスで天に召されました。深い悲しみの中3月には母校プール学院短期大学が閉じられました。2019年4月のプール学院大学設置者変更につき、今年2021年3月には短期大学も閉学となりました。

歴史と伝統を誇るプール学院の高等教育に幕が下ろされたことは、本当に残念で寂しい気持ちでいっぱいです。

To the Glory of Godの建学の精神のもとプール学院短期大学は、エレノア・メアリー・フォス先生を初代学長とし大阪市生野区の校舎で一期生を迎え、1982年大阪府堺市横塚台の泉ヶ丘キャンパスに移転後は、男女共学の四年制大学、大学院へと発展を遂げられました。2021年3月16日に70名の卒業生を見送り、最後となりました。

卒業式に続きおこなわれました短期大学閉学記念礼拝では、作野元学長が非常に心に響くご挨拶をされました。コロナ禍により母校訪問も

ままならないまま今を迎えられている会員皆様にもご紹介(P.6)させて頂きます。プール学院短期大学への思いを共有できれば嬉しく存じます。

また、例年であれば秋に開催しておりましたミヅパ会総会で、ご報告しご承認いただくべき諸事をこの誌面を借りてご報告させて頂きますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

プール学院を学び舎といたしました我々は、これからも変わりなくミヅパ会という組織で、プール学院同窓会の一員として今後もつながって参りたいと存じます。

活動の一つといたしまして、来年上梓を目指し、思い出文集の作成を行っております。原稿をご寄稿頂ける方を募集させて頂きますので、ご協力くださいますようお願い致します。(詳細は掲示板をご覧ください。)

一刻も早く新型コロナが終息し、一堂に会して親睦を深めて参れることを願っております。

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては、くれぐれもお自愛くださいますようお願い申し上げます。

プール学院ミヅパ会(短期大学・大学同窓会)

会長 五十嵐 よし子  
(高84回・短英26期・佐藤)



# 短期大学閉学記念礼拝ご挨拶

元短期大学学長 作野 理恵

2021年3月16日、プール学院短期大学閉学記念礼拝がエレノアホールで行われました。  
学長でいらっしゃる作野先生による思いのこもったご挨拶文をご紹介します。  
皆様も当日礼拝に参加されていると想像し、お読みください。

※尚、当日の挨拶文から一部、修正が加えられています。

本日はご多用な中、プール学院短期大学の閉学記念礼拝にご臨席を賜りまして誠に有難うございます。

私たち、本学に属する教職員、そして卒業生の多くの方が今日、閉学式典の日を迎えていることの実感を覚えておられないことと思います。

1950年の短期大学設置基準制定時に先陣を切って開学をした、伝統ある名門短期大学が何故、何処よりも早く閉じなければならないのかについて、未だ納得や理解の充分出来ていないのが現状です。

けれども、本学の閉学に対して、これ程までに深く残念に、そして寂しく思う背景には、本学の教育内容への自負と誇りがそれだけ強い事にあると思に至りました。

此の教育活動がこの先、引き継がれる事なく此処で断ち切られることが、あまりにも勿体無く遺憾に思う程の内容と実績を、本学は築き上げて参りました。

本学は短期大学としては他に例を見ない様な幅広く、多岐に亘る学びの場を提供してきました。

例えばプール学院大学と共に1982年度から最終年の今年度まで開催してきた全学集会アセンブリーは、アメリカ先住民や南アフリカ、在日コリアンや東南アジア、そして世界の飢餓問題等について、また日雇い労働者、服役者、自殺、震災等、種々の今日的課題について、現場の生の声から学び取る事が出来る、貴重な機会でした。

クリスマス礼拝においても社会問題に光を当てたメッセージによって、巷間のクリスマスとは別種の視点を提示して参りました。

何よりも本学は此の70年間、高等教育機関としての女子教育をリードし続けてきました。

その象徴として、動画配信と言う形で行った今年度の最後のアセンブリーでは、佐竹教授により本学が貫いてきた女子教育の意味と今後について、非常に奥深いメッセージが学生に届けられました。

キリスト教精神における人権教育や平和学習にも常に重点が置かれてきました。

英文科時代はフォス初代学長のご薫陶により、国際的な視野を持った、優秀で自立した女性が育成され、異文化体験や多様性を重んじる本学の礎が築かれました。

当時としては画期的であった海外研修や留学制度はその後にも連綿と引き継がれ、コロナ禍で不開催となった今年度を除き、昨年度迄毎年、イギリス、カナダ、フィリピン、韓国等での研修を実施し致しました。

参加学生たちにとってそれらは、その後の人生を大きく左右する程の貴重な経験となりました。

秘書科においては日々の授業を筆頭に、様々な講習会やセミナー、そしてインターンシップ等を通して、能力の高い専門的職業人が丁寧に養成されました。卒業生によってその有能さが周知され、最終年度である今年度迄、優良企業からの求人が舞い込み、此のコロナ禍において98%と言う高就職率を生み出しました。

幼児教育保育学科においては、個性を尊重しながらその能力を伸ばし育てる教育方法を貫き、最近では就職先等で、人に

寄り添える人柄や、保護者や職員と温かな関係を築くことが出来る、本学卒業生の人間力の高さについての称賛を頂く機会が増え、本学の閉学を惜しむ声を頻繁に聞くようになりました。

これら実績の全ては、本学教職員の、キリスト教精神に根差した、学生への献身的な愛情と熱意による教学活動の功績だと確信をしています。

本学では、教職一体となって肌理細やかな学生支援をし、オリエンテーション行事や地域連携活動、そして各種プロジェクト等にも全力で臨み、学生の幸せを常に第一義に据えて誠心誠意を尽くして参りました。

最後まで全身全霊を傾けて最終年度学生の一人ひとりに愛情を注ぎ、誇りをもってその教学活動を全うされた、専任、非常勤全ての教職員の皆様に、大きな敬服と感謝の気持ちを抱いております。

高等教育機関におけるプールと言う名がこれで消える事になりますが、その歴史と教育、そして他者性を尊び他者の幸福を願う本学の精神はこれからも卒業生、そして教職員方の心に残ります。

プール学院大学を継承して下さった桃山学院教育大学のご教育の中にも、これらの一部が受け継がれていく事と信じております。

学生と共に本学によって生まれた私たち教職員は、これから夫々の新天地へと旅立って行きます。

70年の年輪を持つプール学院短期大学と言う大木から生え出た枝として、これからも同じ大木に繋がっていた者同士としての強い絆を大切にしながら、本学で得た宝物を生かして、未来に希望を持ち、神から託された地上の勤めを誠実に、精一杯果たして参りましょう。

此の日まで共に歩んで下さった、愛して止まないプール学院短期大学の教職員の皆様、そして本学で学び、社会や地域でご活動をなさっている卒業生の皆様、本当にどうも有難うございました。

最後まで伝統あるプール学院短期大学の灯火を守り、その光を輝き続けさせて下さった教職員の皆様のお働きに、そして本学の精神を宿して今後も「プール学院短期大学」の名を背負い広めて下さいます卒業生の皆様のご人生に、神が深いご愛と報いを注いで下さるようにと願っております。

此処に集っておられる全ての皆様方の4月からの新しいご生活の上に、神様の御護りと祝福が豊かに有りますようにと心からお祈り申し上げ、感謝のご挨拶とさせていただきます。

どうも有難うございました。



作野理恵先生  
プロフィール

2006年4月  
プール学院大学  
短期大学部に入職

2016年4月  
副学長就任  
2018年4月  
学長就任

2021年3月31日  
閉学に伴い退職  
専門分野:  
ピアノ、西洋音楽史

※プール学院短期大学HP「学長挨拶」欄を併せてお読みください。

# 短期大学閉学記念礼拝ご挨拶

元短期大学学長 作野 理恵

2021年3月16日、プール学院短期大学閉学記念礼拝がエレノアホールで行われました。  
学長でいらっしゃる作野先生による思いのこもったご挨拶文をご紹介します。  
皆様も当日礼拝に参加されていると想像し、お読みください。

※尚、当日の挨拶文から一部、修正が加えられています。

本日はご多用な中、プール学院短期大学の閉学記念礼拝にご臨席を賜りまして誠に有難うございます。

私たち、本学に属する教職員、そして卒業生の多くの方が今日、閉学式典の日を迎えていることの実感を覚えておられないことと思います。

1950年の短期大学設置基準制定時に先陣を切って開学をした、伝統ある名門短期大学が何故、何処よりも早く閉じなければならないのかについて、未だ納得や理解の充分出来ていないのが現状です。

けれども、本学の閉学に対して、これ程までに深く残念に、そして寂しく思う背景には、本学の教育内容への自負と誇りがそれだけ強い事にあると思に至りました。

此の教育活動がこの先、引き継がれる事なく此処で断ち切られることが、あまりにも勿体無く遺憾に思う程の内容と実績を、本学は築き上げて参りました。

本学は短期大学としては他に例を見ない様な幅広く、多岐に亘る学びの場を提供してきました。

例えばプール学院大学と共に1982年度から最終年の今年度まで開催してきた全学集会アセンブリーは、アメリカ先住民や南アフリカ、在日コリアンや東南アジア、そして世界の飢餓問題等について、また日雇い労働者、服役者、自殺、震災等、種々の今日的課題について、現場の生の声から学び取る事が出来る、貴重な機会でした。

クリスマス礼拝においても社会問題に光を当てたメッセージによって、巷間のクリスマスとは別種の視点を提示して参りました。

何よりも本学は此の70年間、高等教育機関としての女子教育をリードし続けてきました。

その象徴として、動画配信と言う形で行った今年度の最後のアセンブリーでは、佐竹教授により本学が貫いてきた女子教育の意味と今後について、非常に奥深いメッセージが学生に届けられました。

キリスト教精神における人権教育や平和学習にも常に重点が置かれてきました。

英文科時代はフォス初代学長のご薫陶により、国際的な視野を持った、優秀で自立した女性が育成され、異文化体験や多様性を重んじる本学の礎が築かれました。

当時としては画期的であった海外研修や留学制度はその後にも連綿と引き継がれ、コロナ禍で不開催となった今年度を除き、昨年度迄毎年、イギリス、カナダ、フィリピン、韓国等での研修を実施し致しました。

参加学生たちにとってそれらは、その後の人生を大きく左右する程の貴重な経験となりました。

秘書科においては日々の授業を筆頭に、様々な講習会やセミナー、そしてインターンシップ等を通して、能力の高い専門的職業人が丁寧に養成されました。卒業生によってその有能さが周知され、最終年度である今年度迄、優良企業からの求人が舞い込み、此のコロナ禍において98%と言う高就職率を生み出しました。

幼児教育保育学科においては、個性を尊重しながらその能力を伸ばし育てる教育方法を貫き、最近では就職先等で、人に

寄り添える人柄や、保護者や職員と温かな関係を築くことが出来る、本学卒業生の人間力の高さについての称賛を頂く機会が増え、本学の閉学を惜しむ声を頻繁に聞くようになりました。

これら実績の全ては、本学教職員の、キリスト教精神に根差した、学生への献身的な愛情と熱意による教学活動の功績だと確信をしています。

本学では、教職一体となって肌理細やかな学生支援をし、オリエンテーション行事や地域連携活動、そして各種プロジェクト等にも全力で臨み、学生の幸せを常に第一義に据えて誠心誠意を尽くして参りました。

最後まで全身全霊を傾けて最終年度学生の一人ひとりに愛情を注ぎ、誇りをもってその教学活動を全うされた、専任、非常勤全ての教職員の皆様に、大きな敬服と感謝の気持ちを抱いております。

高等教育機関におけるプールと言う名がこれで消える事になりますが、その歴史と教育、そして他者性を尊び他者の幸福を願う本学の精神はこれからも卒業生、そして教職員方の心に残ります。

プール学院大学を継承して下さった桃山学院教育大学のご教育の中にも、これらの一部が受け継がれていく事と信じております。

学生と共に本学によって生まれた私たち教職員は、これから夫々の新天地へと旅立って行きます。

70年の年輪を持つプール学院短期大学と言う大木から生え出た枝として、これからも同じ大木に繋がっていた者同士としての強い絆を大切にしながら、本学で得た宝物を生かして、未来に希望を持ち、神から託された地上の勤めを誠実に、精一杯果たして参りましょう。

此の日まで共に歩んで下さった、愛して止まないプール学院短期大学の教職員の皆様、そして本学で学び、社会や地域でご活動をなさっている卒業生の皆様、本当にどうも有難うございました。

最後まで伝統あるプール学院短期大学の灯火を守り、その光を輝き続けさせて下さった教職員の皆様のお働きに、そして本学の精神を宿して今後も「プール学院短期大学」の名を背負い広めて下さいます卒業生の皆様のご人生に、神が深いご愛と報いを注いで下さるようにと願っております。

此処に集っておられる全ての皆様方の4月からの新しいご生活の上に、神様の御護りと祝福が豊かに有りますようにと心からお祈り申し上げ、感謝のご挨拶とさせていただきます。

どうも有難うございました。



作野理恵先生  
プロフィール

2006年4月  
プール学院大学  
短期大学部に入職

2016年4月  
副学長就任  
2018年4月  
学長就任

2021年3月31日  
閉学に伴い退職  
専門分野：  
ピアノ、西洋音楽史

※プール学院短期大学HP「学長挨拶」欄を併せてお読みください。

# 掲示板

けいじばん



ぶーたん

短大の入試広報のキャラクターとして使用していました

## ■ ミヅパ会事務所の変更について

短期大学閉学に伴い、2021年4月1日から事務所は本部同窓会の事務所に変わりました。

**新住所** 〒544-0033 大阪市生野区勝山北 1-11-43 一般社団法人 POOLE

※会則や幼保単独同窓会その後等は、ホームページをご覧ください。 <https://poole-mizpah.jp/>

## ■ 原稿執筆者募集

記念集

『プール学院短期大学・大学の思い出  
～時をつなぐボタン～』仮題

プール学院短期大学英文科が改組転換し四年制大学になった時1997年3月に編集員の先生方により『学窓追懐 英文科の47年』文集が発行されています。

今回は、プール学院大学、大学院、短期大学部、短期大学で学んだ思い出や同窓生としての繋がりをテーマに、記念文集を作成したいと思います。

※原稿をご寄稿下さる方は、下記までご連絡下さい。担当者より詳細の連絡をいたします。

[ お申込み、お問合せ ]

poolemizpah@gmail.com

- 文字数 800～1000字 上限1000文字
- 提出方法 メールまたは郵便
- その他 ご連絡のうえ誤字脱字等の編集をさせて頂くことをご了承ください。
- 申込み期限 2021年8月31日

お写真1枚  
ご提供も  
お願いいたします。

## ■ プール学院同窓会関東支部、ミヅパ会関東支部からのお誘い

同窓会、ミヅパ会関東支部ではコロナ禍を逆にとり、オンラインでのつながりを試みています。退任された先生方、ご活躍の卒業生を講師に迎え、基本、単発・無料で楽しく学ぼう場をつくっていきたく考えています。

2020年には元社会科教員や卒業生のご協力によりオンライン授業やヨガを行いました。海外からの参加も可能です。「知的好奇心を満たす」「何歳になっても学ぶ喜び」を、プール学院マインドで後世につなげたいと思っています。

詳細は未定ですが、まずは多くの方とプール学院精神でつながって頂けると幸いです。

坂口弥生 (国際文化学科2000年卒業・井本)

✉ poole1879@gmail.com

📘 <https://www.facebook.com/poole.kanto>

I 2019(R.元)年度 ミヅパ会一般会計決算書				
(当年度 2019(R.元)年10月～2020(R.2)年9月)				
科目	2019年度		差異	備考
	予算	決算		
前年度繰越金	4,919,950	4,919,950	0	
ミヅパ会会費	20,000	2,000	18,000	
学窓同窓会からの補助	40,000	4,000	36,000	
利息	50	39	11	
前期未収入金	6,000	6,000	0	ミヅパ会会費2,000円・学窓同窓会からの補助4,000円2019年卒
収入の部合計	4,986,000	4,931,989	54,011	

(支出の部)				
科目	2019年度		差異	備考
	予算	決算		
消耗品費	20,000	0	20,000	
通信費	50,000	0	50,000	
印刷費	500,000	0	500,000	ミヅパ会だより印刷
報酬手数料	30,000	22,924	7,076	H.P.メンテナンス
旅費交通費	300,000	75,080	224,920	遠方役員等交通費
慶弔費	100,000	53,410	46,590	弔慰金、雑費金、お祝い金
宴会費	30,000	0	30,000	
雑費	15,000	1,540	13,460	振込手数料等
寄付金	200,000	200,000	0	2020年まで毎年20万円学院オクスタド基金へ
支部支援費(関東支部)	50,000	50,000	0	
総会費	50,000	57,388	△7,388	
予備費	500,000	0	500,000	
次年度繰越金	3,141,000	4,471,647	△1,330,647	
支出の部合計	4,986,000	4,931,989	54,011	
収入合計			4,931,989	
支出合計			460,342	
次年度繰越額			4,471,647	

II 2019(R.元)年度 ミヅパ会記念事業積立金会計決算書				
(当年度 2019(R.元)年10月～2020(R.2)年9月)				
科目	2019年度		差異	備考
	予算	決算		
前年度繰越金	3,817,383	3,817,383	0	
利息	50	34	16	
合計	3,817,433	3,817,417	16	

監査の結果、適正に処理されております。

2020年10月11日

監査

鈴木真美

I 2020(R.2)年度 ミヅパ会一般会計予算書					
(当年度 2020(R.2)年10月～2021(R.3)年9月)					
科目	2019年度		2020年度		備考
	予算	決算	予算	前年度予算額との差異	
前年度繰越金	4,919,950	4,919,950	4,471,647	448,303	
ミヅパ会会費	20,000	2,000	20,000	0	2,000円×10人
学窓同窓会からの補助	40,000	4,000	40,000	0	4,000円(2万円×20%)×10人
利息	50	39	50	0	
前期未収入金	6,000	6,000	0	6,000	
収入の部合計	4,986,000	4,931,989	4,531,697	454,303	

(支出の部)					
科目	2019年度		2020年度		備考
	予算	決算	予算	前年度予算額との差異	
印刷費	500,000	0	500,000	0	ミヅパ会だより印刷
報酬手数料	30,000	22,924	30,000	0	H.P.メンテナンス更新
旅費交通費	300,000	75,080	100,000	200,000	遠方役員等交通費
慶弔費	100,000	53,410	150,000	△50,000	弔慰金、雑費金、お祝い金
宴会費	30,000	0	30,000	0	
雑費	15,000	1,540	5,000	10,000	振込手数料等
寄付金	200,000	200,000	200,000	0	
支部支援費(関東支部)	50,000	50,000	50,000	0	
総会費	50,000	57,388	50,000	0	
予備費	500,000	0	500,000	0	
次年度繰越金	3,141,000	4,471,647	2,916,697	224,303	
支出の部合計	4,916,000	4,931,989	4,531,697	384,303	

II 2020(R.2)年度 ミヅパ会記念事業積立金会計予算書					
(当年度 2020(R.2)年10月～2021(R.3)年9月)					
科目	2019年度		2020年度		備考
	予算	決算	予算	前年度予算額との差異	
前年度繰越金	3,817,383	3,817,383	3,817,417	△34	
利息	50	34	50	0	
合計	3,817,433	3,817,417	3,817,467	△34	

(積立支出)					
科目	2019年度		2020年度		備考
	予算	決算	予算	前年度予算額との差異	
記念文集	0	0	500,000	0	
次年度繰越金	3,817,433	3,817,417	3,317,467	499,966	
合計	3,817,433	3,817,417	3,817,467	△34	



# POOLE information

一般社団法人POOLE  
(プール学院同窓会)からの  
お知らせ!

## 01

### 企画委員会活動報告

委員長  
福井 良子  
(高77回・田中)



木村 和代  
(高81回・八百)

福井 良子  
(高77回・田中)

いつも企画委員会にご協力いただきありがとうございます。  
今、コロナ禍で活動は休止状態ですが、企画委員(17名)はオープンハウスの企画や「同窓生の集い」時のバザーや喫茶が再開できますようにアイデアを溜めています。  
バザーのために作品を作ってくださいている全国の同窓生の皆様、本当に感謝しています。  
そして一日も早く、皆様と笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。

## 02

### 広報委員会活動報告

委員長  
岡田 由美  
(高87回・野本)

皆様、今回も何か気になる記事を見つけて頂けましたでしょうか?  
自粛生活を経て、今は「人と人のつながり」の大切さを一層感じる、そんな中、広報委員会の活動においても「こんな時だからこそ、できる事」を探していきたいと思っています。  
会報はもとより、ホームページでも懐かしい母校を感じて頂ける内容を掲載していますので、是非ご覧になってください。



広報委員

## 03 社会ボランティアの会活動報告



代表  
樋井 佳津子  
(高87回・西村)

いつも社会ボランティアの活動にご協力ありがとうございます。2020年度より新型コロナウイルスの感染拡大のため、活動を休止しています。そんな中にありましても同窓生の皆さまから届くご厚意には、深く感謝申し上げます。  
この状況下、社団法人日本キリスト教海外医療協会(JOCS)と共に協力してまいりました生野区在宅ディサービス「おかちやま」が、2021年3月末日をもって介護事業を休止されました。歌あそび、清拭用ウエスの裁断作業に替わるボランティア活動を、コロナ収束後を見据えて 検討していきたいと考えています。  
この目に見えぬ病から、全ての人が快方され、同窓生の皆さまと、笑顔で再会を喜び合える日が1日でも早く来ますこと心より願っています。

## 04

### 売店からのお知らせ

売店スタッフリーダー 倉屋 三佳 (高97回・佐々木)

プール学院の売店は2010年8月から同窓会が運営していて、スタッフは全員同窓生です。今年度4名の新メンバーを迎え計8名が交替で勤務しています。年代は幅広く現役大学生や子育てを終えた世代がいて、みなさんに喜んでいただけるお店作りのアイデアを出し合い協力しています。カウンターには新型コロナウイルス感染予防のビニールカーテンや手指消毒用アルコールを設置し、感染症対策にも気を配っています。制成品の取り次ぎや文房具、オリジナルグッズの販売に加え、生徒や保護者の方々の心に寄り添い、充実した学生生活を送れるようサポートできるあたたかい売店にしていきたいと思ひます。



倉屋 三佳  
リーダー

## 05

### 第27回 香柏会のお知らせ 香柏会幹事会

香柏会\*  
の皆様へ

主のみ名を賛美いたします。  
第27回香柏会のご案内を申し上げます。  
事前申込みは不要です。直接同窓会館へお越し下さい。

毎年10月の第二金曜日開催

- とき** 2021年10月8日(金)  
午後1時30分～午後3時頃終了予定(受付午後1時より)
- ところ** プール学院同窓会館(大阪市生野区勝山北1-11-43)
- 会費** 500円(会館使用料+軽食代)  
茶話会のような形式です。近況報告などもゆっくりお話しください。

**問い合わせ** 同窓会館 事務室 Tel:06-6715-0820  
<担当>鈴木安・松井  
休館日:水曜日・日曜日・祝日 受付時間:午前10時～午後4時

香柏会とは

プール学院中学校・高等学校旧職員の集まりで、1993年10月に第1回の会合をプール学院同窓会館で開きました。  
会の名称「香柏」とは、旧約聖書詩篇で歌われるレバノンの名木のことで、故 後藤恒吉先生が名付けて下さいました。  
会の目的は、旧職員相互の親睦をはかること。学院の発展を祈り、応援していきたいと願うものです。



# 2020年度(令和2年度)決算報告

## ◎収支計算書総括表(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	一般会計		収益事業特別会計		合 計		
	予 算	決算額	予 算	決算額	予 算	決算額	
<b>I 事業活動収支の部</b>							
<b>1. 事業活動収入</b>							
①入会金収入	終身入会金収入	13,230,000	13,330,000	0	0	13,230,000	13,330,000
②事業収入	売店売上・販売手数料	0	0	5,700,000	5,582,282	5,700,000	5,582,282
③その他収入	寄付金・雑収入	101,000	2,001,266	400,100	4,009,092	501,100	6,010,358
事業活動収入 計		13,331,000	15,331,266	6,100,100	9,591,374	19,431,100	24,922,640
<b>2. 事業活動支出</b>							
①事業費支出	会員管理費・活動費	3,170,000	1,867,166	0	0	3,170,000	1,867,166
	支部助成金	100,000	0	0	0	100,000	0
	寄付金支出	1,000,000	1,124,000	0	0	1,000,000	1,124,000
	その他支出	70,000	75,323	3,150,000	3,542,197	3,220,000	3,617,520
②管理費支出	販売費及び一般管理費	4,625,000	5,410,302	2,530,000	3,170,317	7,155,000	8,580,619
③法人税等引当支出	法人税等	0	0	180,000	243,318	180,000	243,318
事業活動支出 計		8,965,000	8,476,791	5,860,000	6,955,832	14,825,000	15,432,623
事業活動収支差額		4,366,000	6,854,475	240,100	2,635,542	4,606,100	9,490,017
<b>II 投資活動収支の部</b>							
1. 投資活動収入		0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出		0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額		0	0	0	0	0	0
<b>III 予備費支出</b>		500,000	0	100,000	0	600,000	0
当期収支差額		3,866,000	6,854,475	140,100	2,635,542	4,006,100	9,490,017
前期繰越収支差額		22,104,822	22,104,822	12,927,098	12,927,098	35,031,920	35,031,920
次期繰越収支差額		25,970,822	28,959,297	13,067,198	15,562,640	39,038,020	44,521,937

## ◎貸借対照表総括表(令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	一般会計		収益事業特別会計		合 計	
	決算額		決算額		決算額	
<b>I 資産の部</b>						
1. 流動資産	現金預金	33,012,460	14,881,358	47,893,818		
	未収入金	0	2,869,111	2,869,111		
	他 流動資産	0	0	0		
	流動資産合計	33,012,460	17,750,469	50,762,929		
	2. 固定資産	什器備品・電話加入権	932,641	0	932,641	
	固定資産合計	932,641	0	932,641		
資産合計		33,945,101	17,750,469	51,695,570		
<b>II 負債の部</b>						
1. 流動負債	未払金等	1,008,904	2,187,829	3,196,733		
	預り金	16,900	0	16,900		
	前受金	3,960,000	0	3,960,000		
	流動負債合計	4,985,804	2,187,829	7,173,633		
2. 固定負債	固定負債合計	0	0	0		
負債合計		4,985,804	2,187,829	7,173,633		
<b>III 正味財産の部</b>						
1. 指定正味財産	指定正味財産合計	0	0	0		
2. 一般正味財産	一般正味財産合計	28,959,297	15,562,640	44,521,937		
負債及び正味財産合計		33,945,101	17,750,469	51,695,570		

## ◎会計監査報告

2020年度(令和2年度)収支計算書及び貸借対照表は監査の結果正確であることを証明します。

2021年5月1日 監事 五十嵐 泰子 内田 佐知子 豊田 賀世子

### 『オクスラド基金』にご協力を

同級生との昔話に花を咲かせる楽しいひと時にお互い声かけあって、  
**母校の発展 後輩の育成** のために  
 私たちの気持ちを、お捧げしましょう。





# Open house day

企画委員会主催



## これからのオープンハウスデー

皆様、同窓会館の奥に「教師館」(旧:宣教師館)があることをご存知でしょうか? すごく雰囲気のある素敵な建物です。今後、許可がいただければティーパーティーなどを企画してみたいと考えております。

また、郊外へ出かけるプランなど、アイデアをお聞かせください。

コロナの収束を願いますが、生活が変化し、今までとは違ったかたちが求められるかもしれません。オンラインになったり、人数制限を設けたり、新たにできる事を模索していきたいと思っております。

今後もお気軽にご参加ください  
企画委員会一同お待ちしております。  
企画委員長 福井 良子  
(高77回・田中)



教師館



会館和室にてお点前



## ご遺贈

2019年8月に逝去された三宅照子さま(高旧56回)のご遺族から2020年5月に同窓会に200万円のご遺贈がありました。

同窓会に寄せられたお心に感謝してご遺志を活かせるよう利用したいと思います。

## ～私たちの国籍は天にあります～

(フィリピの信徒への手紙3:20)

2019年の同窓会便り発行から2年の間に、会館にご逝去のお知らせを頂いた方は160名になります。2019年10月に八千草薫さま(高旧57回)、2020年7月に旧職で第3代同窓会会長稲垣和子さま(高旧53回)、2021年1月に旧職で初代館長の片山敬子さま(高旧56回)、坂本スミ子さま(高64回)、旧職の井谷光さま、2月に英国在住のミス・クーパー宣教師、4月に旧職の吉野昭子さまが逝去されました。2月には清水なみ子さま(高旧39回)が109歳で逝去されました。記録では恐らく最高齢だと思っております。お名前を挙げませんでしたが、逝去されたお一人お一人のことを胸に刻み、魂の平安をお祈りすると共に、ご遺族のみなさまの上に主の慰めがありますようにお祈りいたします。



## 編集後記

昨年は残念ながら、同窓会便りの発行を断念することとなりましたが、今年は発行へとこぎつくことができ感無量です。

様々な事が例年と違い戸惑いつつ、コロナ禍であっても集まれる時には集まるという姿勢に、理事長はじめ皆さまのPOOLE愛♡同窓会愛を感じずにはおれません。

LINEやメールでのやり取りが増えた今日この頃ではありますが、何か無機質な気がして…やはり対面してコミュニケーションを取る事も大切であると改めて思われました。



広報委員 古東 真智子  
(高92回・長友)

一般社団法人POOLE  
ホームページQRコード